



## 親子体操教室



9月12日(土) 気仙沼本吉総合体育館にて、親子体操教室を開催しました。

宮城県はメタボリックシンドローム該当者及び予備群をあわせた割合が5年連続全国ワースト2位であること、肥満傾向児の割合も高いことから、幼児と小学校低学年のお子さんとその保護者を対象に実施したものです。



会場には仙台89ERSのチームキャラクターのティナとむすび丸、そしてホヤぼーやが遊びに来てくれました。参加者は、講師である89ERSチアーズの指導のもと、来場者にプレゼントされた手ぬぐいを使ったストレッチや音楽にあわせて行うジギスカンダンスを楽しみました。

みなさんも普段からからだを動かしてメタボを予防しましょう！



©SENDAI 89ERS/bj-league

## 救急フェア

9月5日(土)にイオン気仙沼店で『救急フェア2015』を開催しました。



このイベントでは、9月9日の救急の日及び救急週間(今年度は9月6日～12日)の周知と、救急医療への正しい理解と普及啓発を図るため、イオン気仙沼店の協力を得て、関係機関と共催で

毎年実施しております。

今年は気仙沼向洋高校の森谷優輝さんと三浦拓馬さんが一日救急隊長に委嘱され、消防本部の救急救命士の指導を受けながら、AEDを使用した心肺蘇生法などを学びました。また、ホヤぼーやとオクトパス君、また、みやぎ消太くんも参加し、救急医療や応急手当の普及啓発活動、心肺蘇生法の実技講習を実施しました。



そのほか、消防車両等の展示や記念撮影、献血、保健師による健康相談を行い、多くの方々に御参加いただきました。

## 認知症の人と家族のつどいの御案内

9月21日(月)は「世界アルツハイマーデー」となっており、日本では9月をアルツハイマー月間として、多くの方々に認知症に対する理解を深めていただけるよう呼びかけています。

認知症の人は、10年後には高齢者の5人に1人(700万人)になると言われています。もう決して他人事ではありません！

同時に、認知症の人を介護する家族のサポートも必要となっています。気仙沼管内では、認知症の人と家族のつどいが、毎月第3金曜日午後1時から旧八十松商店の一室にて行われています。認知症介護経験者が認知症の介護について日々の相談に応じています。物忘れが心配な方、認知症の方を介護されている方、このつどいに参加してみませんか。

# この人に聞きたい！

【イオン気仙沼店 店長】

～ 大津裕志 様～  
(イオンリテール株式会社)

このコーナーでは、管内の保健福祉や環境衛生関係の活動・業務に取り組む方からお話をお聞きます。

今回は、日頃より当所のイベント、展示等で多大な御協力をいただいているイオン気仙沼店店長の大津さんに「地域貢献について」お話を伺いました。



「イオンの基本理念はお客様への商品及びサービスの提供を通じて豊かな生活を実現し、地域発展への貢献及び平和を追求することです。」

「さて、東日本大震災は人々の生活を破壊し、人々はまず、生きること必死になりました。そのような中で、震災直後も商品・サービスを提供できたことは大変誇りに思っています。震災から年月が経過し、人々はその日の生存から安定した日々、そして徐々に社会的で充足した生活を求めるようになってきました。例えば、家具などの販売数から住宅の建築などの復興の進捗を感じるがあります。しかし、人々の生活の充足状況はどうなのでしょう。地域コミュニティ・行政との連携による様々なサービス提供を通じて地域全体の発展に役立てばと考えております。」

以上のとおり、大津さんから、理念とこれまでの取り組み、サービスの提供をとおして感じた気仙沼の様子等についてお話をお聴きしました。

気仙沼管内の地域振興については震災以降ますます官民協働での取り組みが求められています。

今後の地域貢献のあり方についても、大津さんからは、場所の提供や地域コミュニティ・行政との連携について積極的に取り組んで行きたいとの頼もしいお言葉をいただき、心強く感じました！

## 入院時情報提供の手引き説明会を開催しました！

9月11日（金）当所会議室で、宮城県ケアマネジケアマネージャー協会気仙沼支部と当所主催による「入院時情報提供の手引き説明会」を開催し、圏域の特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・認知症対応型グループホームのケアマネジャー・生活相談員等の皆さんに参加いただきました。

この手引きが作成された経緯としては、入院日数の短縮化等により、短期間で効率的で質の高い退院支援が求められている状況があります。そのため、病院とケアマネジャー等の双方の支援者が入院当初から入院前の生活状況や本人・家族の生活への希望や意向等の情報を共有し、円滑にもとの生活に復帰できるように共通の目標を持って取り組んで行くことが必要であることから、手引きが作成されました。



手引き自体は、居宅介護支援事業所のケアマネジャー向けに平成27年4月から運用が開始しているものですが、施設でも活用できるものだろうとの意見もあり、説明会を開催したものです。

この手引きが活用され、病院と施設がより密な連携を図ることができ、要介護状態にある患者が日常生活を営むために必要なサービスを、適切かつ効果的に受けられることを期待しています。

### ✿ 編集後記 ✿

日に日に涼しくなり、秋も深まる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。気候の変化が激しくなりますから、健康管理にくれぐれもお気を付けください。当所でも、折に触れて注意喚起を行っていきます。（次号は11月の発行予定です。）

↓ご感想・ご意見等どしどしお寄せ下さい！↓

担当：気仙沼保健福祉事務所広報委員会

電話：0226-22-6661

メール：fukahire@pref.miyagi.jp